

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 青 谷 高等学校

|      |           |     |             |
|------|-----------|-----|-------------|
| 重点項目 | I C T活用教育 | 提出日 | 平成31年 4月17日 |
|------|-----------|-----|-------------|

|  |  |
|--|--|
| 1 学校目標   |  |
| <p>人づくり（キャリア教育の推進）<br/>         ー自己肯定感を育み、社会で信頼され、社会に貢献する人材の育成ー</p>  |  |
| 2 重点項目に係る目標・成果   |  |
| 目標   | 成果   |
| <p>タブレット端末を学習の補助ツールとして活用して授業改善に取り組むとともに、生徒の個に応じた基礎学力の向上を図り、主体的な学びにつながる指導の在り方を研究する。</p> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <p>①全ての生徒がタブレットを活用した授業を経験する</p> <p>②タブレットを利用して授業を行う教員が60%以上</p> <p>③青谷学（2年次）で複数回プレゼンテーションの機会を設け、自己評価・他者評価を実施。評価結果が向上する生徒が90%以上。</p> <p>④基礎力診断テストのDゾーンの各階層（D1, D2, D3）の生徒の割合が年度当初に比べて数がそれぞれ5ポイント上位に推移。</p> <p>⑤タブレット等を活用した授業の実施によって学習意欲が向上する生徒が60%以上。</p>  | <p>・ICT活用に特化した校内公開授業を各教科で実施し、互いに参考にしあう機会を設定した。</p> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <p>① 100%達成</p> <p>② 67.9%（非常勤講師を除く）</p> <p>③ 端末の不具合等により未実施</p> <p>④ 各階層という目標設定が不適切であった。学年全体の3科平均のDゾーンの生徒の割合は10ポイント以上減少した。学年・科目によっては減少の程度が少ないものもあった。</p> <p>⑤ 67.9%</p> |
| 3 実施事業   |  |
| <p>【高等学校課事業】</p> <p>○ ICT（タブレット端末）活用推進事業<br/>         複数アカウントが登録可能なシステムの活用<br/>         ・ Shared iPad の利用<br/>         ・ 端末の設定、ネットワーク管理などの MDM を業者委託</p> <p>【独自事業】</p> <p>○ ICTを活用した学力向上</p> <p>（1） Shared iPad 及び Apple School Manager の活用研修会の実施<br/>         ・ タブレットを活用した授業の推進（授業改善の取組）<br/>         ・ 基礎力診断テストと連携した利用（基礎学力向上の取組）<br/>         ・ 活用方法の共有</p> <p>（2） 先進校視察及び全国規模の研究発表会への参加<br/>         ・ 全国規模の研修会に参加 岡山市、名古屋市等<br/>         ・ 授業以外の場面への活用<br/>         ・ 家庭での活用方法の研究</p> |  |

#### 4 総合所見（成果・評価）

・端末の不具合、接続環境の問題等の理由により想定した取組が実施できず残念であった。できる範囲で活発に活用して授業に取り組み、その場の学習に意欲的に取り組む姿勢を生み出すことはできたが、継続的な、自発的な学習への意欲喚起にまでは至らなかったと感じている。個人の端末ではないことの限界かもしれない。

・授業の場面以外にも活用できるツールとして ICT 利用を心がけた。アンケートの実施と処理、進路希望調査、LHR でのレクリエーションなど。

・平成30年度末をもって Shared iPad の設定を解除した。このことにより、当初の懸案であったデータ管理の問題が再浮上するが、端末の活用に対するハードルは下がるものと想定している。引き続き、生徒の学習意欲の向上に繋がるよう研修と実践を重ねたい。

※枚数任意